

平成26年度第2回佐倉市青少年問題協議会議事概要

会議名	平成26年度第2回佐倉市青少年問題協議会議事概要
開催日時	平成27年2月2日（月）14時00分～16時00分
開催場所	佐倉市立中央公民館 学習室3
出席者	<p>茅野達也副会長：佐倉市教育委員会教育長 浦田啓充委員：佐倉市副市長 立田悦子委員：佐倉市健康こども部子育て支援課長 黒川隆生委員：民生委員・児童委員協議会会長 前田克彦委員：佐倉市立王子台小学校長 山口俊久委員：佐倉市立上志津中学校長 岩崎久美子委員：佐倉市青少年相談員連絡協議会副会長 片岡正臣委員：少年警察ボランティア佐倉地区連絡長 菅田平昭委員：佐倉市青少年育成市民会議会長 高石惣一郎委員：佐倉市体育協会副会長 遠藤知子委員：佐倉市スポーツ推進委員副会長 飯塚香奈子委員：佐倉市PTA連絡協議会 間野台小学校PTA会長 新田 司委員：千葉敬愛短期大学准教授 山田真史氏：佐倉市教育委員会指導課（指導課長 古嶋美文委員代理） 大島ようこ氏：佐倉市子ども会育成連盟（同連盟 阿部アオイ委員代理） 事務局 山辺健康こども部長、櫻井児童青少年課長 児童青少年課 牛玖主査、三浦主事、武藤主事 任天堂株式会社 北村恵信様、鈴木孝志様、大野桂嗣様、大石哲也様、石埜祐介様、 駒井大祐様、北原有加様</p>
傍聴者	公開講座形式で実施し、委員以外の参加者、関係機関・団体等から40名
議事	<p><input type="checkbox"/>開 会 1 開会 2 健康こども部長挨拶 3 委嘱状交付 4 委員紹介 <input type="checkbox"/>会 議（公開講座） 1 はじめに 2 子どもとインターネット時代のゲーム機 3 質疑 <input type="checkbox"/>閉 会</p>
要旨	<p>山辺健康こども部長による開会のあいさつに続き、児童青少年課牛玖主査から、本公開講座に先立って、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」の第19条（インターネットと接続する機能を有する機器の製造事業者の義務）と第6条（保護者の責務）について、簡単な説明等がありました。</p> <p>その後、任天堂株式会社からプレゼン資料に基づいた説明があり、途中、ニンテンドー3DSを参加者全員で体験的に操作し、青少年がゲーム機を取り扱う際の保護者の留意事</p>

項について、委員を含めた関係機関・団体からの参加者全員で共有しました。

なお、任天堂株式会社からの説明内容は、プレゼン資料のとおりとなっていることから、別添資料をご参照ください。

説明終了後の質疑では、概ね以下のやり取りがありました。

○知育的なゲームはあるのか。

(任天堂) 過去に脳トレの類のソフトを販売しています。また、ベネッセがニンテンドー3DS機を使った計算ドリル等の学習ソフトを販売しております。

○ニンテンドー3DSの今後の方向性で、様々な家電との通信機能が付加されるなどの考えはあるのか。

(任天堂) 現在のところ、そのような方向性はないと認識しております。

○自宅に無線ランがないので、ネット環境に接続できないという認識でよいのか。

(任天堂) ネット接続の環境がなければ、ネットにはつながりませんが、例えば友達の家など自宅ではないところで、ネット接続の環境があれば、ネットにつながるので、利用制限を掛けるのが望ましいと思います。

○青少年のゲーム使用に際しての保護者による使用制限等、様々な配慮がされていることが分かったが、ゲームを長時間行うことによる子どもの脳への影響については、どのように考えているのか。

(任天堂) ゲームの脳への影響については、ゲームが脳に良い影響を及ぼすという考え方や悪い影響を及ぼすという考え方もあるなど一定しておらず、いろいろな見方がされているところですが、長時間ゲームをやり続けるということは、お勧めしておりません。

最後に、教育長から、教育委員会ではフィルタリングの設定を行うよう求めているところで、関係機関・関係団体が連携して、今日得た知識を多くの方に広めていただきたいとの総括的な挨拶をもって、すべての内容が滞りなく終了しました。